

長時間労働に歯止めを！あなたの声を中教審に！！

教職員が生き生きと働き、子どもたちの笑顔がかがやく学校に！

中教審は6月に「質の高い教師の特別部会」を設置し、この間「教職員配置の在り方」等をはじめ「教職員の長時間労働解消に向けて8回の議論を重ねています。しかし、いまだ「給与面、公務員法制・労働法制面の在り方について」は、議題に上がっていない状況です。このままでは、答申は来年度初めにずれこむことが予想されます。

全教・兵庫教組は中教審の審議に、教職員をはじめ広範な保護者・国民の願いを反映させるため、「長時間労働に歯止めをかけ、ゆたかな学校教育の実現を求める署名」にとりくんできました。さらに、この署名を広範な国民に広げるため、12月には「学校に希望を！長時間労働に歯止めを！ネットワーク（「学校に希望を！働き方」ネットワーク）」が結成され、世論を上げるためのとりくみがすすめられています。署名は現在15万筆を超え、2月15日に提出する予定です。

「学校に希望を！働き方」ネットワークから、この署名提出後のとりくみとして、「学校がもたない！緊急アンケート」をGoogleフォームで2月いっぱい集め、教職員、保護者をはじめとする市民、退職教員の願いを、中教審・政府・政党に届けたいと提起がありました。

兵庫教組は、この呼びかけに積極的に対応、アンケートにとりくみます。ご協力よろしくお願ひします。

学校がもたない！緊急アンケート

□期間：2月1日(木)～2月29日(木)

□アンケートの方法：

Googleフォームによるアンケート
(URL および 2次元コードから)

<https://forms.gle/de1oj4ArrG725LYWA>



長時間労働に歯止めをかけ、ゆたかな学校教育の実現を求める署名



←こちらにもご協力お願いします。

署名項目

- ①教員にも残業代を支給すること
- ②学校の業務量に見合った教職員を配置すること
- ③これらを実現すべく教育予算を増額すること

呼びかけ人

教員の長時間勤務に歯止めをかけ、豊かな学校教育の実現を求める教育研究者有志

内田良・尾木直樹・佐藤学・前川喜平・中嶋哲彦

他15名

持ち時間数に上限を決め、子どもたちとゆったりと向き合える時間を！そのために義務標準法の改正を！！